

令和6年度 企業のDX推進補助金 採択結果一覧

補助金採択事業者	事業計画名	概要
株式会社アテクト	IoTデータのデータベース化とその活用法確立事業	生産設備の保全是安定生産するうえで重要であるが、設備保全システムに付随する機器の設置やデータ分析と、ネットワーク環境やサーバの管理が異なる組織に跨るため「調整」が多く発生し、分析方法の変更にも柔軟に対応できず、IoTを利用した社内の課題解決ができていない。今回、漏水センサーと電流センサーを新規設置し、センサーからのデータをマイコンを通じてシステムに集約・可視化し、分析できる仕組みを構築する。 将来的に既存PLC含めてIoT機器の制御に適するマイコンモジュールにより、各種データを可視化する。またDX人材育成にて、生産技術部門とIT部門の双方の業務に精通したハイブリッド技術社員を育成する。
株式会社長浜シャーリング工場	AIによる製缶工数の具象化と付加価値を高める企業構造の具現化PJ	ベテラン社員の暗黙知に頼っている生産計画では、納期の優先順位変更や急な受注増に対して計画の妥当性や受注量の限界点が把握できず、納期問題が発生する恐れがある。この状況を改善するため、昨年度開発したAI製缶工数算出プログラムを基盤とし、担当者別作業時間割振機能を開発、受注した案件毎の作業時間を予測、個別人員の割り振りを自動化することで、生産性向上と資源の最大活用を目指す。 DX人材育成として、装置導入時トレーニング、および外部講習により、データ分析スキル、システム連携等の要件作成が可能なスキル獲得を計画。
サンテクノス株式会社	シルク/パッド印刷製品へのAI活用自動外観検査システム導入	プラスチック成形品に文字を印刷するシルク/パッド印刷製品に対する印刷品質の要求が厳しく、これに対応する外観目視検査工程の生産性向上及び品質向上が喫緊の課題となっている。AIを活用した画像検査システムを導入し、重要工程である外観目視検査の自動化による稼働率向上、属人化からAI判定による品質向上を図ると共に、製造現場のAI画像検査のエキスペートを育成し社内DX化を推進する。
日本黒鉛工業株式会社	黒鉛粉末製造の品質管理に係るシステム再構築	現在、黒鉛粉末の物性を測定・検査し、品質を保持する業務を紙ベースで行っている。近年、顧客の品質要求の高まりや検査項目の増加により、手書きの配合明細書の運用によるミスや作業の無駄が業務に与える影響が無視できなくなっている。 今回、配合明細書をデータ化し、各検査機器のデータ入力も手動から自動に変更してデータを一元管理することで人為的ミス防止や業務効率化を図る。併せて今後のシステム拡張に主体的に関われるDX人材育成に取り組む。
株式会社近畿理研	クラウドと専用端末を用いたリユース品の在庫・工程管理システムの構築	集塵機フィルター等のリユース事業では、カーボンニュートラルへの意識の高まりもあり取扱量が増加している。しかし、その管理が曖昧で、各営業個人による記録や、お客様からの依頼をたよりにしているのが実情。今回清掃・洗浄・交換時期を明確に把握するため、QRコードの添付とQRコードリーダーの導入によるデジタル管理を実施する。これによりリユースの施工サイクル、新品の導入サイクルを把握し、お客様への予防保全的な提案を行うことを可能とする。同時に管理を適正に行い、さらに管理方法をブラッシュアップできる人材の育成を進める。
近江ユニキャリア販売株式会社	脱書類！クラウド型システムによる一元管理でペーパーレスと生産性向上を実現	ワークフローの承認や経費の精算といった事務作業を現状紙ベースで行っている。人手不足の中で、一人当たりの担当案件数は増加し、法令改正による有休の取得義務化など、紙枚数は増加をたどる一方となっている。当社は客先に出向き顧客の産業機械メンテナンスを行う業務割合が多いことから、事務作業増加による業務への影響は無視できないレベルとなっている。 今回、人事・勤怠管理を中心としたクラウド型業務システムの導入を進め、業務の効率化を進めると同時に、従業員に対し、システム導入研修、IT研修を行い、意識改革を促すとともに、DXを推進する社員に対し、ビジネスアーキテクト研修を実施し、今後の更なる社内DX推進のきっかけとする。